

令和3年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第1回市民啓発部会を開催しました



○7月30日（金）にオンラインにて第1回市民啓発部会を開催しました。参加者は、部会メンバー8名と事務局3名でした。

○7月2日に行われた協議会の内容について事務局から報告を行ったあと、今年度の予定について確認を行いました。昨年度までの決定事項を基に、今年度は具体的に啓発媒体を作成し、可能であれば試験的運用を始めることとしました。

○啓発媒体は漫画を作成することとし、参考資料や各委員で考えたストーリーを持ち寄りながら、具体的な内容について各委員で話し合い、以下の様に決定しました。

【啓発対象】

- ・40～60歳代の世代。

【漫画のストーリーについて】

- ・キーワードは、「本人の思い」、「困った時の対応」、「自分事として考える」、「話のきっかけ作り」。
- ・「認知症の母に死期が迫り、主治医から延命治療をするか求められ、しないことを選択したがそれが正しい選択であったのか不安が残る…」と言ったような、認知症や延命

治療等の具体的なエピソードを基に、身近に感じられるような内容とする。

- ・サービスを利用する際の流れや相談窓口の紹介も入れ込めるとよい。
- ・どのような場面でこのような話をするか、話すきっかけや導入部分も必要。
- ・啓発媒体の大きさはA3両面（4ページ）を想定。
1ページ目に表紙や部会の説明、2、3ページ目に漫画、4ページ目に関係機関や相談窓口の案内を記載する。

【作成方法】

- ・今回決定したストーリー案を基に、8月下旬を目途に、部会長・副部会長・事務局でより具体的なストーリーやセリフ等を決定する。
- ・漫画作成については、委員の知人に依頼する。

【配布方法】

- ・完成した試作品を、まずは各委員の職場で配布し、中身についてアンケートを取りながら内容を改善していく。
- ・市民への配布については、医師会や市で行う健診等での配布を検討する。

各委員間で情報共有や意見交換を行いながら、第2回目の部会までに原案の完成に向けて進んでいきます。